



広報



市の鳥・シジュウカラ



FUSSA

平成24年(2012年)

3月1日 No. 850

発行/福生市 編集/企画財政部秘書広報課
〒197-8501 福生市本町5
☎042-551-1511 (市役所代表)
毎月1日・15日発行

▼福生市3月の主なイベント▼

4日(日)	ふっさキャンドルナイト
10日(土)	第3回児童・生徒による音楽のまちづくりコンサート2012
25日(日)	まちづくり景観フォーラム

ホームページ <http://www.city.fussa.tokyo.jp/>

今号の主な記事 2面臨時職員の募集 3面外国人登録に関する制度変更 4面放射線に関する情報 5面減免世帯に指定収集袋を交付 6面市の計画(案)についての市民意見の概要と市の考え方について 7面忘れていませんか、子ども手当認定請求

トークイベント in 酒蔵 「表現すること 伝えるということ」

ミュージカル「ア・ソング・フォー・ユー」の脚本家・鈴木聡氏と、映画「ミツコ感覚」の監督・山内ケンジ氏をお招きし、「トークイベント in 酒蔵 表現すること 伝えるということ」を開催します。

映画「ミツコ感覚」の上映会と両氏、加藤市長によるトークセッションの2本立てです。

江戸時代から続く、酒蔵の風格あるたたずまいの中で、演劇や映像についての芸術論、また舞台や映画を通して語られる福生の魅力をぜひご堪能ください。

日時 3月24日(土)午後2時～5時30分

内容

【第一部】映画「ミツコ感覚」上映会(プロジェクターによる上映)

【第二部】鈴木聡氏×山内ケンジ氏×加藤市長によるトークセッション

場所 石川酒造(熊川1番地)

参加費 無料(要事前申込み)

定員 100人(先着順)

申込み 3月5日(月)午前8時30分から必要事項(氏名、住所、電話番号)を添えて、メール(fussacs@gmail.com)または電話で、シティセールス推進課産業活性化グループ☎551-1699へ。



山内 ケンジ氏

1958年生まれ。「ソフトバンクモバイル/白戸家」シリーズなど数々のヒットCMを手がける、CM界の鬼才クリエイター、映画監督。

【作品紹介】

映画「ミツコ感覚」

東京郊外に住む姉妹と2人を取り巻く人々のちょっとおかしな日常を描く、幸せ探しの物語。ほぼ全編福生市内で撮影。山内ケンジ初監督作品。



鈴木 聡氏

1959年生まれ。劇団「ラップ屋」主宰。数々の有名CMを生み出す一方、NHK朝の連続テレビ小説の脚本も手がける注目の作家。

【作品紹介】

ミュージカル「ア・ソング・フォー・ユー」

70年代の福生を舞台に、歌に青春を捧げる若者たちの愛や彼らを取り巻く人々の姿を、カーペンターズの名曲とともに描く。

～家にいながら安心にお買い物～ 「らくらくお買い物代行サービス」スタート!

このサービスは、日常の買い物にお困りの方に代わって買い物を行なうというものです。使い方は簡単! 地元商店街の商品が掲載されているカタログから、欲しい物を選んで、電話等で申し込むだけ。あとは自宅で商品が届くのを待つという、大変便利なサービスです。

また、商品をお届けの際、体調がすぐれない場合等に緊急連絡を行なう「見守り」もあわせて行



なっていきます(希望者のみ)。

料金 1回の代行につき100円※別途、購入した商品代金をいただきます。

利用方法 電話、ファックス、インターネット等で、まちなかおもてなしステーションへ申込み。※対象店舗と取扱商品は、まちなかおもてなしステーションまたは市役所第二棟2階シティセールス推進課窓口にあるカタログでご確認ください。

利用登録 まちなかおもてなしステーションへ申込み後、個別に対面で登録手続きを行ないます。

問合せ まちなかおもてなしステーション ☎530・2341(フッサヨイ)

電気自動車と電動アシスト自転車を借りて、地球にやさしいライフスタイルの実践を!

「使いたいとき、使いたいだけ」利用できます。ぜひ、会員登録を!

【電気自動車】

貸出拠点 市役所、まちなかおもてなしステーション
入会金 無料※平成25年2月まで入会キャンペーン中
利用料金 各プランごとの年会費・月会費※詳細は、カーシェアリング・ジャパン(株)ホームページ(<http://www.careco.jp/>)でご確認ください。
会員登録 カーシェアリング・ジャパン(株)へ電話(☎0120・292・105)かホームページでお申し込みください。

【電動アシスト自転車】

貸出拠点 まちなかおもてなしステーション、福生駅西口・牛浜駅東口・拜島駅北口の各自転車駐車場
入会金 無料
利用料金 100円/15分※最初の30分は無料
会員登録 クレジットカード(JCB、マスター、VISA)、フェリカ搭載ICカード(Suica、PASMO等)をお持ちのうえ、まちなかおもてなしステーション☎530・2341へ。

全力投球

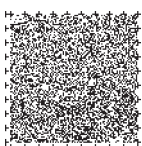
福生市長 加藤育男

祈り

天皇陛下の心臓冠動脈バイパス手術が無事終了され、その後の経過も順調とのことですが、ぜひ今後はあまりご無理はなさらないでいただきたいと願わずにはられません。

以前、東京都町村懇談会の中で当時の平野祐康三宅村長が、三宅島の噴火で全島避難を強いられた約4年半の間に、さまざまな機会をとらえて、両陛下が何度も村民を励ましたエピソードを披露されました。そのどれもが通り一遍のものではなく、お二方の心からの温かい愛情があらわされていて、子どもも大人もどれほど勇気づけられたか計り知れないとのことでした。特に周りが仰天したエピソードとして、「家にぜひ遊びに来てください。」という子どもとの約束を守って、翌日アパートを訪問されたことも披露されました。

東日本大震災の時も、両陛下のお人柄に助けられたという声が多く伝わってきました。皇様が以前、「皇室は祈りでありたい」と仰ったことが思い出されます。お二方の行動そのものが、国や国民の行く末に幸多かれという無言の「祈り」に他ならないと感じます。一日も早いご回復をお祈り申し上げます。



SPコード専用読取装置で、コードの文字情報を音声で聞くことができます。問合せ 秘書広報課広報広聴係 ☎551・1529